

平成26年度予算見積調書

課室名：資源循環推進課
 担当名：資源循環工場整備担当
 内線：3104 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B52	彩の国資源循環工場第 期事業費			一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	彩の国資源循環工場第 期事業費		
事業期間	平成17年度～平成26年度	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			戦略項目				
						分野施策	040302 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進			
1 事業概要 廃棄物の適正処理と環境産業の育成を図るため、廃棄物最終処分場と最先端の環境産業を誘導・集積する「彩の国資源循環工場第 期事業」を推進する。				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 建設費 90,158千円 工場用地の造成及び最終処分場建設工事を行う。平成22年度から平成26年度まで5か年の継続費を設定して 期事業地を整備する。 イ 設計費 39,693千円 用地の確定測量等を行う。 期事業地への工場立地にあわせ土地の合筆・分筆及び測量を行う。 ウ 環境影響評価実施費 11,880千円 希少動植物の保全状況の確認や有識者への意見聴取を行う。 期事業地の整備にあたり実施した環境影響評価に基づき移植した動植物について追跡調査を行い適切な保全措置を行う。 エ 事業運営費 3,422千円 工場用地への企業の選定を実施する。また埋立跡地の活用や地元説明のため寄居町や地元地区代表による会議を開催する。						
2 事業主体及び負担区分 県				(2) 事業計画 ア 平成22年度から平成26年度まで イ 平成17年度から平成26年度まで ウ 平成19年度から平成26年度まで エ 平成19年度から						
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)衛生費 (細目)生活衛生指導費 (細節)廃棄物処理対策費 (積算内容)廃棄物処理対策に関する事務				(3) 事業効果 ア 資源循環工場 期事業地を整備することにより循環型社会の形成に向けて環境分野をリードする先端技術産業などを集積するとともに資源循環の一層の推進を図る。 イ 資源循環工場の分譲及び賃貸が円滑に進み工場立地が促進される。(平成25年度～一部操業開始) ウ 貴重な動植物の移植を含む環境保全措置を適切に行うことができる。 エ 埋立跡地の活用方策としてメガソーラーの設置が提案され、平成24年度に事業者が決定した。県のエコタウンプロジェクトのリーディング事業であるだけでなく、地元貢献の手法を導入することにより新たな事業モデルを提示した。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 平成26年度 9,500千円×7.6人=72,200千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		県債								
決定額	145,153	85,000						60,153	1,503,253	
前年額	1,648,406	1,455,000						193,406		